

Digital Cinema NOW

変革の時代始まる

川上 一郎

最近の連載記事でも紹介しているが、チャイナリスクの問題がさらに急浮上してきている。8月2日付け(米国現地時間)のハリウッド・レポーター電子版(が、民主党のチャック・シュメル上院議員が米国対外投資委員会の権限を利用して、中国のハリウッドに対するすべての投資を制限すべきであるとの親書をトランプ大統領に提出したと報じた。この、中国に対する米国への投資制限を働きかける動きが民主党上院議員から出されているところが注目すべき点である。米国で最大の輸出産業は航空宇宙産業であり、第二位がハリウッド映画に代表されるコンテンツ産業である。この、コンテンツ産業に対する中国資本の不当な流入は、米国と対峙する北朝鮮に対して、国連常任理事国で有りながら、なんら有効な制裁措置を取ろうとしない中国を利するだけで有り、ひいては北朝鮮にとっても利益となることから、金の為には片目をつぶって中国よりの外交政策を推進してきた民主党から、中国によるメディア関連産業への資金流入規制の動きが出てきたところが誠に興味深いところである。

クリントンやオバマによる民主党政権時代には、話し合い路線で中国を先進国扱いし、米国企業の中国進出を推進し、かつ中国からの輸入品については発展途上国への特例措置である特惠関税に近い扱いを行う寛大過ぎる外交政策を行ってきた。その結果が、南シナ海での傍若無人な行動に代表される中国共産党の行動である。今回の大

統領選挙でも、クリントン元大統領が億単位の講演料をもらって中国での講演や、ワシントンでの年間1,000億円を越えると言われている中国によるロビー活動、米国内の主要大学への中国プロパガンダ活動拠点として多額の寄付金で設立した孔子学院の目にあまる活動内容等々から、民主党政権時代の対中国外交政策については、他の発展途上国での人権問題と対中国での対応がダブルスタンダードでは無いか?との批判には一理あるところがあった。

ご承知のように、長く続いた民主党政権下で中国への米国企業進出を促進した背景から、アリババに次ぐ中国第二の企業グループとなったワンダによる映画興行チェーンAMCエンターテインメント(以下AMCと略称する)の買収、そしてゴジラやジュラシックパーク等の特撮映画プロダクションであるレジェンダリーフィルムの買収などが行われてきたが、先月になって、この買収資金を調達した米国銀行シンジケートに対する中国側からの資金振り込みが停止されたとの報道が相次ぎ、AMCの株価は15%以上下落した騒動がある。その後も、北朝鮮情勢の悪化に伴い中国共産党政府に対する不信感の増大や、買収時の投資ファンドへの資金供給を行った米国銀行シンジケートに対する中国側からの資金振り込みがなされていない等の報道が相次ぎ、AMCの株価は続落し株式時価総額は25%の下落となっている。そして、今年初めにAMCがテレビドラマ制作会社DCP(Dick

Clark Production)を10億ドルで買収すると発表していたのが突如キャンセルとなる報道がCNBCから報じられるなどと混迷が続いている。さらに、CNNが8月18日付けで報道した香港発のニュースでは、中国からの資金流出を防ぐために海外のメディア関連企業への資金出資を全て規制すると報道された。この報道については、冒頭で紹介した民主党上院議員から大統領に提出された親書が、米国議会内で公式に議論が始まる前に、中国自らが海外投資への規制をかけることで共産党指導部のメンツを保った感じが強い。

さて、中国の映画興行市場は、映画興行関連情報サイト:セルロイド・ジャンキーの7月27付CJ China Cinema Newsによれば、今年上半期で841館4,960スクリーンが新規開業したことから総スクリーン数が4万5千に到達したとCCTVファイナンシャル・リポートが報じている。未だに、不動産バブルの象徴として地方都市の再開発地域にシネコン新設が続いており、興行売り上げでも年内には米国市場を抜くのではとされているが、上映される映画作品は全て共産党によりコントロールされており、外国映画の配給についても厳しく統制されているのはよく知られている。この中国映画興行市場で“ブラックアウト”が今年実施された。この“ブラックアウト”とは、中国の春節(日本の旧正月に相当する)や、夏休みの映画館に取ってかき入れ時となる時期に海外映画作品の配給・上映

AMC Slams MoviePass, Threatening Legal Action

Brent Lang
Senior Film and Media Editor
🐦 [@BrentALang](https://twitter.com/BrentALang)



See unlimited movies for \$10 a month? Not so fast, says AMC Theatres



AMC said it was consulting its legal team to see whether it could block MoviePass from being used at its theaters. (Aug. 16, 2017) (Sign up for our free video newsletter here <http://bit.ly/2n6VKPR>)

図2 \$10 ムービーパスの波紋

っかけとなる、中国にとっては最悪の事態となることも予想される。中国での公開が9月以降に延ばされてしまった話題作は、“スパイダーマン：ホームカミング”、“猿の惑星：聖戦記（グレート・ウォー）”、そして“ワンダー・ウーマン”などの中国以外で好調な興行売上を上げている作品であり、ハリウッドからは中国共産党による“ブラックアウト”に対する不信感が強まっている。

さて、ワンダグループによるAMCやレジェンダリーフィルムの買収が全て無効とされた場合には、当然のことながら映画興行業界再編の動きが混沌とすることは当然であり、物言う投資家として著名なオーレンバフェット氏がリーガルシネマ買収に乗り出すとの観測が流れ始めている。

8月3日付けの映画興行情報サイトであるセルロイド・ジャンキーに掲載された“CJ Opinion: Should Warren Buffet Buy Regal Cinemas?”では、最近の証券取引所における映画興行チェーン主要各社の株価推移で、AMCエンターテインメントは15.2ドル（5.6ドルの下げで26.92%時価総額急落）に対して、リーガルエンターテインメントは18.19ドル（0.90ドルの下げで4.71%時価総額下げ）にとどまっております。来年から始まるのが確実にようになってきているプレミアムVODによる興行売上の減少（最低でも5%）に対して、AMCよりは影響を受けないのではとの観測もある。

いずれにせよ、中国に対する不公平取引のバッシングが始まればAMCは当然のことながら中国資本の映画興行チェーンとしてバッシングの対象になるとともに、ワンダによる株式売却では買いたたかれることは必須であり、業界再編の動きは全く予想不可能な状態となってくる。

また、ニューヨークでまもなく開始すると言われていた\$10で一ヶ月間映画見放

題となるAMCの“ムービーパス”については法的な問題があり、実施時期は未定との報道がされた。問題となってくるのは、\$10のムービーパス売上金の分配比率が配給側と調整できているのかである。AMCが自己資金で制作した映画もしくは配給権を持っている映画の見放題についてはなんら問題は無いが、通常の映画作品については配給会社との作品レンタル契約に基づいて上映を行うことから、このムービーパスについては見切り発車で発表してしまったと感じられる。

映画館の収益源は売店収入であることから、ムービーパスで平日の客席稼働率が5%程度しか無い現状が改善されれば映画館にとってはありがたい話であるが、既存の映画配給会社とどのように調整を図っていくのが注目されるところである。

参考資料 1)

産経ニュース 2017.5.4 11:00【エンタメよもやま話】中国に媚びたが“冷や水”…目が覚めたハリウッド、買収案件「金ない」次々破算の深い事情、岡田敏一 2)

産経ニュース 2017.8.16 05:30【エンタメよもやま話】お得意様中国から嫌がらせ、米政府も激怒“北朝鮮に利する”…米ハリウッドが敵視され始めたワケ、岡田敏一 3)

“Hollywood-China Relationship Faces More Pressure as Chuck Schumer Calls on Trump to Block All Deals, 1:19 AM PDT 8/2/2017 by Patrick Bzreski, Hollywood Reporter 4)

“Hollywood’s China Money Heartbreak: Is the Love Affair Really Over?, 5:00 AM PDT 8/10/2017 by Scott Roxborough, Patrick Bzreski, Hollywood Reporter 5)

“China is acting blatantly protectionist in an industry that’s hugely important to the US”, Cheang Ming, Published

9:51 PM ET Thu, 3 Aug 2017; Update 8:58 AM ET Fri, 4 Aug 2017, CNBC.com 6)

See unlimited movies for \$10 a month? Not so fast, says AMC Theatres, Ryan Faughnder, LA Times, AUGUST 16, 2017, 1:25 PM, This article related to: Netflix 7)

AMC Slams MoviePass, Threatening Legal Action, Brent Lang, August 15, 2017; 04:00 PM PT, Variety Media 8)

CJ China Cinema News-Thursday 27 July 2017, Patrick von Sychowski; July 27, 2017 3:33 am PDT, Celluloid Junkie 9)

CJ Opinion: Should Warren Buffet Buy Regal Cinemas?, Patrick von Sychowski; August 3, 2017; 2:57 pm PDT, Celluloid Junkie 10)

China box office: ‘Wolf Warriors 2’ posts huge debut, 31 July, 2017, Silvia Wong, Screen Daily 11)

Will ‘Wolf Warrior 2’ extend international rule?, 4 August, 2017, Jeremy Kay, Screen Daily 12)

Theater Chain AMC(s stock plummets 25% as weak Hollywood box office weighs on earnings, Ryan Faughnder, AUGUST 1, 2017, 4:45 PM, Los Angeles Times

Ichiro Kawakami
デジタル・ルック・ラボ